

(様式第2号)

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
地域重点政策	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属 商工観光課
事業名	佐久っとサイクルプロジェクト			電話	0267-63-3157
				E-mail	<a href="mailto:sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp">sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要等	目的 (目指す姿)	長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cyclingプロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、佐久地域の魅力を盛り込んだガイドツアーをはじめとした取組みや小海線の観光利用を促進する取組を重層的に行うことにより、佐久地域のサイクルツーリズムの推進を図る。			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久地域は、ヒルクライム等の自転車イベントが複数定着している。また、地域のほとんどの場所で浅間連峰や八ヶ岳の眺望を楽しめ、サイクリングにとって絶好のロケーションだが、サイクリストの数は多くない。</li> <li>・全県で取り組む「Japan Alps Cyclingプロジェクト」の長野県一周ルートは、一部の市町村しか通過しない。地域全体に波及させるためには、県一周ルートの支線となる地域独自ルートが必要。</li> <li>・R3、4年度にアプリ「Ride with GPS」へのコース掲載やマップ作成、佐久地域産カラマツを使用したサイクルラック設置、小海線サイクルトレインイベントを行い、サイクリストが利用しやすい環境整備やサイクリング普及に取り組んだ。</li> <li>・さらなる普及のため、コース上の飲食店等の事業者と連携し、地域住民が自転車を歓迎する機運醸成が必要。</li> <li>・小海線は国の地方鉄道見直しの対象路線に該当。特に南佐久郡からは活性化への強い要望がある。観光利用促進や地域住民の従来になかった利用方法検討が望まれる。</li> </ul>			
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小海線サイクルトレインイベント</li> <li>・JR東日本びゅうツーリズム&amp;セールス、JR東日本長野支社・小海線統括センター、佐久地域自転車活用推進協議会と連携し、9/9(土)に自転車を解体せずそのまま電車に持ち込めるサイクルトレイン(団体臨時列車)を運行。アクティブシニア層をターゲットとした首都圏発着20名と、自転車愛好家をターゲットとした現地発着30名の参加者を想定。JR小海線の利用者増の推進と佐久地域でのサイクリングの魅力発信に取り組む。</li> <li>○推奨ルートの情報発信</li> <li>・Ride with GPSへのコース掲載</li> <li>・長野県魅力発信ブログ等への記事掲載(ウォーキングコース含む)</li> <li>○八ヶ岳周遊サイクリング大会に向けた意見交換会</li> <li>・八ヶ岳を一周するサイクリングコースを開発するとともに、将来的な大会開催に向けた関係団体の意見交換会実施</li> </ul>			
	事業期間	令和5年7月		～	令和6年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	JR小海線サイクルトレインイベント開催	小海線に自転車を持込可能なイベント列車運行	552,845		
	推奨ルートの情報発信	・Ride with GPSへコース掲載 ・長野県魅力発信ブログ等への記事掲載(ウォーキングコース含む)	0		
	八ヶ岳周遊サイクリング大会に向け意見交換会	意見交換会開催	0		
合計			552,845		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	JR小海線サイクルトレインイベントの乗車率	定員の8割	8割(40名)	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成
	推奨ルートの情報発信	10コース以上	11コース	
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR小海線統括センターやJR東日本びゅうツーリズム&amp;セールスと連携し、小海線で自転車を持込可能な団体臨時列車運行とそれにあわせたガイドツアーイベントを開催した。首都圏、近畿地方などからも参加があり、野辺山でのサイクリングの魅力をPRすることができた。</li> <li>・幅広い層への周知を行うため、佐久地域のサイクリングコース(周辺飲食店、観光スポット含む)を撮影したYoutube動画掲載を7本行った。また、小海線を利用して各駅の飲食店や観光スポット、見どころなどを含めたウォーキングコース「小海線に乗って魅力発見！」シリーズを4本ブログ掲載し、佐久地域における魅力について広く発信した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルトレインイベント後の参加者へのアンケートでは、「また参加したい」が97%の回答を得るなど高い評価であった。「非日常的でワクワクした」「自転車をそのまま持ち込めてうれしい」などの感想をいただき、小海線を活用したサイクリングの普及につなげることができた。</li> <li>・Youtubeの合計視聴数が約1500回、ウォーキングコース「小海線に乗って魅力発見！」シリーズのブログのいいね数が合計60件以上となり、佐久地域のサイクルツーリズムや地域の魅力を多くの方に発信することができた。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や民間事業者(サイクリスト、観光事業者)と連携しながら佐久地域のサイクルツーリズムの促進を図る。</li> <li>・佐久地域のサイクルコースやラック設置場所を積極的に情報発信し、実際の来訪と利用につなげる。</li> <li>・県民参加型予算の取組みと連携し、小海線を利用したサイクルイベントを開催するなど、サイクルツーリズムの新たな活用を検討する。</li> </ul>			